

大阪府臨床工学技士会セミナー

テーマ:透析液排水管理

「透析排水管理に目を向けよう!! ～ 施設内の改革で出来ること ～」

日本透析医学会、日本透析医会および日本臨床工学技士会が合同で2018年10月に行った「透析システムからの排水に関する調査」において、排水処理装置を設置するスペースがない、ビル診療なので現状では無理などの回答がなされ、対応に苦渋の声も聞かれた。中和槽等の透析排水処理装置の設置には、一定区画のスペースや埋没工事など、テナントビル等で診療を行っている透析施設や既に建設が完了し診療中の透析施設において後から設置することが困難なケースも多いのが現状である。そこで本セミナーでは、屋外に大きな工事を必要とせず施設内に設置可能なインラインミキサータイプの設備や洗浄剤の選択により透析排水管理の一助になる情報を共有する機会を設けました。水都大阪の未来を守り、安心して大阪府民の生活が未来へ引き継がれ、環境に配慮した透析施設で診療が行われることを心から願っています。

座長 PL 病院 臨床工学技士室 児玉健一郎

企業プレゼンテーション

- ① 株式会社ゴータ水処理技研:インラインミキサータイプの透析排水システム
- ② クリーンケミカル株式会社:中性 NEWTORU
- ③ アムテック株式会社 :サンフリーGi

特別講演

「次亜活性水の活用について」

生野愛和透析クリニック 南 伸治 先生